

異文化マネジメント

多文化に接する組織の一人一人に必要なスキル

ご相談内容例

- 言葉は通じるのに多国籍チームで働くときに意思疎通が大変なのはなぜ？
- 海外/日本赴任者や受け入れ側は文化の違いにどう備えたらいい？
- 外国籍社員のサポートを語学の得意な社員に頼っている状況を変えるには？
- 社内の課題の常在・複雑化による内向きの組織を変えるには？
- 社員の持つスキルや視点を活かすにはどうしたらいい？



アクロス カルチャーズ
ファシリテーター
ダコスタ 枝理子

約15年に渡り国内外で多国籍な仲間と仕事をしてきた中で、多文化適応は、マネジメントに関わる人だけではなく、組織のメンバー一人一人に必要なスキルだと痛感してきました。

多文化環境で私自身も多くの悩みを経験してきたからこそ、お客様の置かれた状況に深く共感し、多文化適応のサポートをさせていただきます。

略歴

長崎県長崎市出身。

西南学院大学 国際文化学部卒業

サンディエゴ州立大学(交換留学)

卒業後は政府系銀行で2年勤務。

在オーストラリア日本国大使館で2年勤務。

大手教育会社の多国籍な環境で8年半勤務。

2021年にアクロスカルチャーズを設立。

2021年よりホフステードCWQ 認定アソシエイト。

研修例

- 赴任前研修
外国籍社員様向け 日本赴任前研修
受け入れ側の社員様向け 受入前研修
海外赴任前研修
- 多文化適応研修
グローバルプロジェクトに関わる方向け
社内研修/異業種グループ研修
- DE&I研修
社内の様々な多様性を活かす
社内研修/異業種グループ研修
- 1：1トレーニング
外国籍社員の方と共に働く方、海外赴任中の方等
(具体的なお悩みの解決に向けて)

実施形態

- 社内集合研修 例) 3時間×2回 (別日)
- 日本・海外赴任前研修 例) 2時間×3回 (別日)
- アセスメント&1：1フィードバックセッション
1時間/人

アセスメントについて

ホフステードCWQ (Culture in the Workplace Questionnaire) は受検者の文化的価値観 (チームで受検の場合は、個人とチームの文化的価値観) の職場への影響を客観的に理解し、多文化環境に適応するために使用できます。アセスメントの言語は、日本語、英語、中国語の中から選択可能です。

